

終末期古墳の副葬品組成について

— 『埼玉県古墳詳細分布調査報告書』を基礎資料として—

小久保 徹

はじめに

1994年に埼玉県教育委員会により『埼玉県古墳詳細分布調査報告書』（以下「報告書」）が刊行された。これは5か年間に及ぶ古墳詳細分布調査事業の成果であり、県内の多くの埋蔵文化財担当者の方々に調査員になっていただき、集成された調査カードをもとに、事業実施機関である当さきたま資料館が編集したものである。現時点の県内古墳に関する最大の資料であり、埼玉県における古墳研究の基本資料として、今後種々の分析の基準となるべき重要な調査報告である。

「報告書」によれば古墳総数は4,705基（横穴墓297基を含む）となっている。それらの埋葬施設のうち横穴式石室は819となっている。他の竪穴式（系）石室、粘土槨、箱式石棺、木棺直葬、木炭及び礫槨等が合計110程度なので9割方は横穴式石室墳ということになる。そのうち何らかの発掘調査が行われた横穴式石室墳は458あり、その2/3は埴輪をもたない。筆者も県内の古墳の発掘調査を比較的多く行うことができたが、ほとんどは埴輪をもたない7世紀代のものであった。横穴式石室墳全体にいえることでもあるが、当該期の古墳は調査例が多いにもかかわらず副葬遺物の組成が言及されることは少ない。その理由は追葬を基本とする埋葬施設であり、その構造特徴から内部への侵入、攪乱や後世の盗掘が容易で、副葬品の原状把握の確認が困難なことによるのであろう。「報告書」には出土品の項目があり、副葬品の種類の一覧を作ることができる。出土品は埋葬当時の原状そのままではないが、これらの集成は副葬品の在り方を考える基礎材料である。「報告書」の刊行によりそれが行えるようになった。特に古墳数も多く、したがって調査例の多い古墳時代後期後半（終末期）の副葬品の集成はその傾向をつかみやすく、終末期古墳を理解するうえで大いに意義あることと考える。ここでは埼玉県における終末期古墳の副葬品の組成に関する基礎データを提示し、あわせてそこから導き出されたいくつかの特色について概観したい。

データ表（第1表）の作成

古墳の抽出に当たっては調査カード及び各古墳の調査報告書も参照した。副葬品が発見され、横穴式石室をもち、埴輪を伴わないもの、前方後円墳ではないもの、調査されたものに限定し、これらの古墳を終末期古墳としてとらえた。年代的には7世紀代の古墳と考えている。これは前代の、埴輪を伴い、前方後円墳を含み、横穴式石室をもち、調査された、6世紀（後半主体）の古墳（以下「前代」）100基の副葬品との比較対照を前提とし、終末期古墳の副葬品の組み合わせの在り方を単純化してとらえるために設定したもので、終末期古墳の概念規定をするものではない。墳丘や石室の形態構造、規模形状はとりあえず捨象した。

第1表は各古墳の出土品のうち最も一般的に出土し、件数が多い品種を項目設定し、それぞれに

第1表 埼玉県における終末期古墳副葬品組成表

No.	コード	古墳名	所在地	墳形	直刀	鉄鏃	刀子	耳環	玉	弓金具	馬具	その他
1	15 - 3 - 12	柏原12号墳(城髪山2号)	桶川市	?	●	●	●	●	●			
2	34 - 9 - 5	柏崎5号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●	●		
3	34 - 9 - 6	柏崎6号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●			
4	34 - 1 - 8	附川8号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●			
5	38 - 2 - 1	かぶと塚古墳	吉見町	円	●	●	●	●	●			
6	53 - 1 - 2	御堂坂2号墳	本庄市	円	●	●	●	●	●			
7	54 - 1 - 9	長沖9号墳	児玉町	円	●	●	●	●	●			
8	56 - 1 - 13	塚本山134号墳(18号)	美里町	円	●	●	●	●	●			
9	13 - 2 - 4	浅間塚古墳(馬室2号)	鴻巣市	円	●	●	●	●		●		
10	19 - 1 - 1	小堤山神古墳	川越市	円	●	●	●	●				
11	22 - 2 - 6	上広瀬6号墳	狭山市	円	●	●	●	●				
12	34 - 9 - 4	柏崎4号墳	東松山市	円	●	●	●	●		●		
13	34 - 2 - 16	三千塚Ⅲ-16号墳	東松山市	円	●	●	●	●				
14	56 - 1 - 13	塚本山137号墳(19号)	美里町	円	●	●	●	●				
15	66 - 2 - 37	小前田84号墳(18号)	花園町	円	●	●	●	●		●		
16	67 - 1 - 8	鹿島8号墳	川本町	円	●	●	●	●				
17	67 - 1 - 11	鹿島11号墳	川本町	円	●	●	●	●				
18	67 - 1 - 13	鹿島13号墳	川本町	円	●	●	●	●				鐻子
19	67 - 1 - 24	鹿島24号墳	川本町	円	●	●	●	●				
20	82 - 3 - 3	笹原3号墳	蓮田市	円	●	●	●	●				
21	12 - 1 - 8	台耕地稲荷塚	大宮市	円	●	●	●	●	●			
22	54 - 1 - 10	長沖10号墳	児玉町	円	●	●	●	●	●			
23	82 - 2 - 1	十三塚1号墳	蓮田市	円	●	●	●	●	●			
24	12 - 2 - 9	植水4号墳	大宮市	円	●	●	●	●	●			
25	13 - 1 - 7	箕田7号墳	鴻巣市	円	●	●	●	●	●			
26	26 - 1 - 15	川角15号墳(毛呂山78号)	毛呂山町	円	●	●	●	●	●			
27	34 - 1 - 1	附川1号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●	●		
28	39 - 4 - 2	大道古墳	滑川町	円	●	●	●	●	●			
29	55 - 2 - 13	帯刀2号墳	上里町	円	●	●	●	●	●			
30	55 - 2 - 16	帯刀4号墳	上里町	円	●	●	●	●	●			飾金具
31	56 - 1 - 1	諏訪林1号墳	美里町	円	●	●	●	●	●			
32	70 - 5 - 1	小松古墳	羽生市	円	●	●	●	●	●			
33	15 - 2 - 12	原山12号墳	桶川市	?	●		●	●	●			
34	57 - 7 - 11	No. 104古墳	神川町	円	●		●	●	●	●		
35	34 - 1 - 2	下唐子2号墳(冑塚古墳)	東松山市	円		●	●	●	●	●	●	
36	39 - 3 - 1	大谷1号墳(わたご塚古墳)	滑川町	円		●	●	●	●	●		
37	27 - 1 - 2	大河原2号墳	坂戸市	円	●	●	●	●	●			
38	34 - 1 - 3	諏訪山3号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●			
39	34 - 1 - 3	西原3号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●			
40	67 - 1 - 20	鹿島20号墳	川本町	円	●	●	●	●	●			
41	67 - 1 - 21	鹿島21号墳	川本町	円	●	●	●	●	●			
42	22 - 3 - 1	笹井1号墳	狭山市	?	●	●		●	●			
43	34 - 1 - 5	附川5号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●	●		
44	55 - 5 - 3	浅間山古墳	上里町	円	●	●	●	●	●			鉄鉢・銅鏡
45	55 - 5 - 5	上里No. 5古墳	上里町	円	●	●	●	●	●			
46	56 - 1 - 11	塚本山118号墳(17号)	美里町	円	●	●	●	●	●	●		
47	56 - 1 - 13	塚本山132号墳(11号)	美里町	円	●	●	●	●	●			
48	57 - 7 - 70	南塚原7号墳	神川町	円	●	●	●	●	●			
49	59 - 3 - 2	中条大塚古墳	熊谷市	円	●	●	●	●	●			挂甲
50	65 - 1 - 6	塩3支群6号墳	江南町	円	●	●	●	●	●			
51	67 - 1 - 12	鹿島12号墳	川本町	円	●	●	●	●	●	●		
52	34 - 5 - 1	田木山1号墳	東松山市	円	●	●	●	●	●			
53	59 - 1 - 1	万吉下原遺跡1号墳	熊谷市	円	●	●	●	●	●		●	
54	67 - 1 - 16	鹿島16号墳	川本町	円	●	●	●	●	●			
55	27 - 4 - 9	新町9号墳(新町古墳 坂戸36号)	坂戸市	円		●	●	●	●			
56	67 - 1 - 19	鹿島19号墳	川本町	円		●	●	●	●			
57	67 - 3 - 1	塚原1号墳	川本町	円		●	●	●	●			
58	12 - 2 - 6	植水1号墳	大宮市	円		●	●	●	●			
59	26 - 1 - 6	川角6号墳(吹上古墳)	毛呂山町	円		●	●	●	●			
60	54 - 1 - 11	長沖11号墳	児玉町	円		●	●	●	●			
61	55 - 2 - 14	帯刀3号墳	上里町	円		●	●	●	●			
62	56 - 6 - 4	羽黒山1号墳	美里町	円		●	●	●	●			
63	34 - 1 - 3	野本3号墳(上川入古墳)	東松山市	円		●	●	●	●			
64	36 - 2 - 1	行司免1号墳	嵐山町	円		●	●	●	●			鉄鏃
65	67 - 2 - 1	箱崎1号墳	川本町	円		●	●	●	●			
66	13 - 1 - 9	箕田9号墳(宮登古墳)	鴻巣市	円		●	●	●	●			
67	15 - 1 - 9	西台9号墳(西台遺跡3号)	桶川市	円	●		●	●	●			
68	22 - 2 - 8	上広瀬8号墳	狭山市	(円)			●	●	●			
69	27 - 1 - 3	北峰3号墳(坂戸87号)	坂戸市	円			●	●	●			
70	27 - 3 - 9	新山9号墳(旧坂戸68号)	坂戸市	円		●	●	●	●			
71	27 - 6 - 2	勝呂2号墳(天皇塚)	坂戸市	円	●		●	●	●			
72	27 - 1 - 2	塚越2号墳(稲荷山古墳)	坂戸市	円	●		●	●	●		●	

No.	コード	古墳名	所在地	墳形	直刀	鉄鏃	刀子	耳環	玉	弓金具	馬具	その他
73	34 - 4 - 1	桜山1号墳	東松山市	円	●			●				
74	34 - 4 - 3	桜山3号墳	東松山市	円	●			●				
75	34 - 1 - 2	野本2号墳(久保原古墳)	東松山市	円	●			●				
76	34 - 1 - 1	西原1号墳	東松山市	円	●	●						銅鏡
77	36 - 3 - 7	寺山7号墳	嵐山町	円	●	●						
78	39 - 3 - 1	平1号墳(羽尾古墳)	滑川町	円	●		●					
79	43 - 1 - 10	飯塚・招木102号墳	秩父市	円		●	●					
80	54 - 1 - 66	長沖66号墳	児玉町	円			●	●				
81	56 - 6 - 6	羽黒山3号墳	美里町	円	●	●				●		
82	56 - 1 - 11	塚本山119号墳(22号)	美里町	円		●		●				
83	56 - 1 - 12	塚本山122号墳(3号)	美里町	円	●	●						
84	56 - 1 - 12	塚本山131号墳(9号)	美里町	円	●	●						
85	56 - 1 - 13	塚本山135号墳(21号)	美里町	円		●	●					
86	56 - 2 - 1	雷電神社裏古墳	美里町	円	●			●				
87	62 - 2 - 18	樋ノ下18号墳	寄居町	円		●						
88	63 - 4 - 6	四十坂6号墳	岡部町	円		●						
89	65 - 1 - 11	塩3支群11号墳(西原11号)	江南町	円	●		●					
90	66 - 3 - 20	黒田20号墳	花園町	円		●	●					
91	67 - 1 - 7	鹿島7号墳	川本町	円			●	●				
92	67 - 2 - 2	箱崎2号墳	川本町	円			●	●				
93	67 - 3 - 3	塚原3号墳	川本町	円		●	●					
94	68 - 3 - 2	八幡山古墳	行田市	円	●	●				●		銅鏡・珎金具
95	67 - 1 - 6	鹿島6号墳	川本町	円	●			●				
96	15 - 1 - 2	西台2号墳(川田谷古墳群)	桶川市	円	●							
97	15 - 1 - 11	西台11号墳(西台遺跡第5号)	桶川市	円	●							
98	15 - 3 - 11	柏原11号墳(城髪山1号)	桶川市	不明	●							
99	34 - 4 - 7	桜山7号墳	東松山市	円	●							
100	34 - 8 - 1	舞台1号墳	東松山市	円	●							
101	34 - 2 - 1	三千塚VI-1号墳	東松山市	円	●							
102	43 - 3 - 1	大野原1号墳	秩父市	円	●							
103	59 - 8 - 1	籠原裏1号墳	熊谷市	八角	●							
104	26 - 3 - 14	西戸14号墳	毛呂山町	円		●						
105	27 - 3 - 7	新山7号墳	坂戸市	円		●						帯金具
106	34 - 1 - 13	岩鼻13号墳(菅原神社古墳)	東松山市	円		●					●	
107	34 - 1 - 6	附川6号墳	東松山市	円		●				●		
108	34 - 2 - 3	三千塚Ⅲ-3号墳	東松山市	円		●						
109	34 - 2 - 2	三千塚VI-2号墳	東松山市	円		●						
110	34 - 2 - 2	三千塚VI-2号墳	東松山市	円		●						
111	47 - 5 - 1	柳瀬1号墳	皆野町	円		●					●	胡ろく
112	53 - 8 - 9	堂場4号墳	本庄市	円		●						
113	56 - 1 - 16	塚本山172号墳(24号)	美里町	円		●						
114	59 - 8 - 3	籠原裏3号墳	熊谷市	円		●						
115	59 - 8 - 7	籠原裏7号墳	熊谷市	円		●						
116	64 - 1 - 3	大境南遺跡3号墳	大里村	円		●						
117	67 - 1 - 5	鹿島5号墳	川本町	円		●						
118	67 - 1 - 9	鹿島9号墳	川本町	円		●						
119	67 - 1 - 25	鹿島25号墳	川本町	円		●						
120	67 - 1 - 27	鹿島27号墳	川本町	円		●						
121	16 - 3 - 1	八重塚1号墳	北本市	円			●					
122	26 - 3 - 13	西戸13号墳	毛呂山町	円			●					
123	36 - 7 - 2	向原2号墳	嵐山町	円			●					
124	36 - 2 - 2	行司免2号墳	嵐山町	円			●					
125	53 - 8 - 54	開拓1号墳	本庄市	円			●					帯金具
126	56 - 7 - 19	白石19号墳	美里町	円			●					
127	67 - 1 - 17	鹿島17号墳	川本町	円			●					
128	67 - 1 - 23	鹿島23号墳	川本町	円			●					
129	67 - 1 - 26	鹿島26号墳	川本町	円			●					
130	67 - 1 - 34	鹿島34号墳	川本町	円			●					
131	8 - 2 - 2	八塚古墳	朝霞市	方				●				
132	27 - 3 - 1	新山1号墳	坂戸市	円				●				
133	27 - 1 - 4	片柳4号墳	坂戸市	円				●				
134	34 - 4 - 8	桜山8号墳	東松山市	円				●				
135	34 - 6 - 2	駒堀2号墳	東松山市	円				●				
136	56 - 1 - 13	塚本山136号墳(20号墳)	美里町	円				●				
137	62 - 2 - 8	樋ノ下8号墳	寄居町	円				●				
138	65 - 1 - 7	塩3支群7号墳	江南町	円				●				
139	53 - 3 - 4	西原古墳	本庄市	円				●				
140	36 - 2 - 2	古里北田2号墳	嵐山町	円					●			
141	56 - 1 - 12	塚本山121号墳(13号墳)	美里町	円					●			
142	57 - 7 - 71	青柳8号墳	神川町	円					●			
143	62 - 1 - 9	小前田9号墳(3号墳)	寄居町	円					●			
144	89 - 1 - 3	目沼3号墳	杉戸町	円					●			

※コードは「報告書」のNo.と同じ

第2表 埼玉県における終末期古墳出土玉類組成表

No.	コード	古墳名	所在地	墳形	勾玉	管玉	切子玉	ガラス玉	琥珀玉	練玉	その他
1	15 - 3 - 12	柏原12z(城髪山2号)	桶川市	?円		●	●	●	●		白玉・銅製空玉
2	55 - 2 - 13	帯刀2号墳	上里町	円	●		●	●	●	●	石製玉
3	12 - 2 - 6	植水1号墳	大宮市	円	●	●		●	●	●	
4	53 - 10 - 2	御堂坂2号墳	本庄市	円		●		●	●		象眼玉
5	70 - 5 - 1	小松古墳	羽生市	円	●	●	●	●			
6	12 - 1 - 8	台耕地稲荷塚古墳	大宮市	円			●	●			漆塗木製玉
7	34 - 12 - 8	附川8号墳	東松山市	円			●	●			碧玉白玉
8	55 - 2 - 16	帯刀4号墳	上里町	円		●	●	●			
9	36 - 25 - 1	行司免1号墳	嵐山町	円	●			●			瑪瑙丸玉
10	34 - 17 - 2	下唐子2号墳(冑塚古墳)	東松山市	円	●			●	●		
11	22 - 2 - 8	上広瀬8号墳	狭山市	円		●	●	●			
12	13 - 1 - 9	箕田9号墳(宮登古墳)	鴻巣市	円		●	●		●		
13	34 - 9 - 5	柏崎5号墳	東松山市	円		●		●			
14	34 - 12 - 1	附川1号墳	東松山市	円			●	●			
15	26 - 1 - 6	川角6号墳(吹上古墳)	毛呂山町	円	●			●			
16	67 - 2 - 1	箱崎1号墳	川本町	円	●			●			
17	89 - 1 - 3	目沼3号墳	杉戸町	円		●	●				
18	34 - 9 - 6	柏崎6号墳	東松山市	円		●					
19	54 - 1 - 9	長沖9号墳	児玉町	円				●			
20	56 - 10 - 132	塚本山134号墳(18号)	美里町	円				●			
21	54 - 1 - 10	長沖10号墳	児玉町	円						●	
22	82 - 2 - 1	十三塚1号墳	蓮田市	円	●						
23	12 - 2 - 9	植水4号墳	大宮市	円						●	
24	13 - 1 - 7	箕田7号墳	鴻巣市	円	●			●			
25	26 - 1 - 15	川角15号墳(毛呂山78号)	毛呂山町	円				●			
26	39 - 41 - 2	大道古墳	滑川町	円				●			
27	56 - 19 - 1	諏訪林1号墳	美里町	円				●			
28	15 - 2 - 12	原山12号墳	桶川市	?円				●			
29	57 - 7 - 11	No. 104古墳	神川町	円				●			
30	39 - 33 - 1	大谷1号墳(わたご塚古墳)	滑川町	円				●			
31	34 - 12 - 5	附川5号墳	東松山市	円	●						
32	56 - 10 - 130	塚本山132号墳(11号)	美里町	円				●			
33	59 - 3 - 2	中条大塚古墳	熊谷市	円	●						
34	54 - 1 - 11	長沖11号墳	児玉町	円							蛇紋岩丸玉
35	55 - 2 - 14	帯刀3号墳	上里町	円				●			
36	56 - 6 - 4	羽黒山1号墳	美里町	円							玉類
37	34 - 13 - 3	野本3号墳(上川入古墳)	東松山市	円					●		
38	27 - 1 - 3	北峰3号墳(坂戸87号)	坂戸市	円							玉
39	62 - 2 - 18	樋ノ下18号墳	寄居町	円							滑石丸玉
40	36 - 23 - 2	古里北田2号墳	嵐山町	円	●						
41	56 - 10 - 121	塚本山121号墳(13号)	美里町	円	●						蛇紋岩丸玉
42	57 - 7 - 71	青柳8号墳	神川町	円				●			
43	62 - 1 - 9	小前田9号墳(3号)	寄居町	円				●			
44	55 - 5 - 3	浅間山古墳	上里町	円							玉類

※コードは「報告書」のNo.と同じ

ついて出土数量を問わず、出土した場合を1件としてドットマークしたものである。直刀、鉄鏃、刀子、耳環、玉類の5品種が件数的に組み合わせの要素として抽出でき、主体を占める。弓金具、馬具その他と件数の差は歴然としている。そこで5種の副葬品について全5種を含む古墳を上位におき、以下4種から1種までのものを順次配列した。5種を副葬品の基本組み合わせと指定し、「前代」との比較において特徴と思われる、主として直刀及び玉類についてのべたい。

玉類の副葬について

玉類の出土件数割合は副葬品出土古墳総数のうち30%であるが、他の4種が概ね50~60%なのでかなり低い出土率といえる。「前代」における玉類出土件数割合は53%であるので玉類の減少は終末期古墳の特徴としてよいであろう。ただし7世紀代を一括して扱っているので全般の傾向かどうかは不明である。第1表では玉類は上位にドットされているが、これは直刀以下他の複数の副葬品種と組み合わせるものが多いことを示している。多種の副葬品をもつものは玉類を伴う傾向があるということであるが、No.9~No.20のように4種をそろえながら玉類を欠くものがある。このように多種をそろえながら特定の品種を欠くような組み合わせはドットに囲まれた空白ブロックとして表される。特定の品種だけが攪乱散逸したとは考えにくいので、元来それらを欠く組み合わせが実態としてあった可能性がある。無いものが元来無かったかどうかは厄介な問題を含むが、同じように石室床面に紛れやすいと思われる耳環の発見例の多さや、複数の他の副葬品種がそろっている事などを考えると玉類はやはりこれを欠く組成があり、また全般的には少ないとしてよいであろう。第2表は玉類の種別一覧である。単純に出土玉種の多い順に並べたものであるが、複数種の玉類が伴出する例が多いことがわかる。またガラス玉(丸玉・小玉)の件数が多いのは、残存個体の多さによる発見例の多さではなく、玉類の中でもガラス玉の副葬が元来多いことによるものである。個数は確認された数量で数十から百数十にも及ぶものがあり、件数・数量ともに玉類の主体を占める。この傾向は「前代」ではさらに強くなり、玉類出土古墳のうち75%を占めるようになる。ガラス玉以外の玉類は上里町帯刀2号墳で勾玉17個の例があるほかは数個がほとんどである。偶然玉類各種のいくつかが攪乱散逸したとは考えにくく、ガラス玉以外は数十単位で発見された例はないので、これらは通常の身体装飾品の連珠としてよりも玉種をそろえることに意義があったと考えられる。玉類の組み合わせは勾玉とガラス玉、管玉と切子玉にガラス玉が加わる例が多いようである。勾玉と管玉あるいは勾玉と切子玉の組み合わせはかなり少ない。「前代」では18件の勾玉出土のうち半数が管玉と組み合い、大きな差異となっている。ところが勾玉と切子玉との組み合わせの少なさと、管玉と切子玉が組み合う例の多さは両者とも全く同じ傾向になっている。一概にはいえない部分もあるが、かなり特徴的な現象であり、玉類の個々の副葬意義との関連が考えられる。なお琥珀玉については、玉類出土が「前代」から減少傾向にあるのに反して終末期古墳では逆に増加している。絶対数は少ないのであるが、玉類出土古墳に対する出土件数割合は2倍になっている。

玉類については特にガラス玉も含めてこれらを欠く組み合わせと組み合わせるものとの差が明瞭である。細かい時期的な傾向はここでは触れることができないが、玉類副葬の意義が他の直刀、鉄鏃、刀子、耳環とは大きく異なる可能性を指摘しておきたい。

直刀の副葬について

直刀片はもとより、刀装具（鐔、鞘及び柄金具）も含めている。直刀は他品種に比べ大形で、一見後世の二次移動により欠落しやすいと思われがちであるが、意外に出土件数が多い事がわかる。副葬品出土古墳数のうち50%を超えている。鉄鏃のような小形、多量で容易に地面に散乱し、後世の人為的な他所への移動を受けにくく、したがって発見例が多いと考えられる副葬品が60%の出土率であるから、直刀の出土率の高さから副葬品の組み合わせに大きな影響を及ぼすような攪乱は意外に少なかったのではないかと考えられる。直刀と鉄鏃は出土件数の割合からいっても刀子・耳環・玉類を含めた基本副葬品のうちでも、最も基本となる組み合わせであると考えられる。「前代」では鉄鏃が10%増加し、直刀は逆に10%減少しているので数字上では終末期古墳の方が直刀の出土件数の割合が高くなっている。直刀は他の品種と比較して本体そのもののもつ個体差が大きい。刀身の大小や拵えの差があり、有窓鐔や金銅装等の飾り大刀も含まれる。また出土本数も差がある。1本が多く、2～3本がそれに続き上里町浅間山古墳の6本が最も多い。こうした個体差は古墳被葬者の社会的な性格と密接に結び付き、それは個々人の階層身分の差異の表れともつながるものであろう。

まとめにかえて

終末期古墳の副葬品の基本的な組成は直刀・鉄鏃・刀子・耳環・玉類の5種であり、そのほかに数量は少ないが弓金具、馬具等がある。いままで触れなかったが馬具については「前代」と著しい差がある。件数割合からいうと「終末期」が3%なのに対し13%になっている。基本的な組成とした終末期古墳の副葬品を「前代」との比較で端的にいうと、直刀は増加し、鉄鏃と玉類は減少する。刀子・耳環・弓金具はほぼ同じである。馬具については絶対的な件数は少ないが、現在の統計の出土割合は最も著しい変化を示す。終末期古墳への変化を埴輪と前方後円墳の消滅を特徴としたが、副葬品の基本的な組成を直刀・鉄鏃・刀子・耳環・玉類とすると、「前代」と大きな差は認められないことになる。直刀・鉄鏃・刀子・玉類は古墳通例の副葬品として後期のみならず前期にまでさかのぼる。耳環も呪的要素をもつ装身具として位置づければ、終末期古墳の副葬品の組成は古墳の伝統的な副葬品の延長上にあり、古墳の外形に関わる大きな変化である埴輪および前方後円墳の消滅現象とは必ずしも対応関係になっていないと見るべきであろう。

表1と2は横穴式石室の規模や遺物の出土状況を見無視した副葬品種の一覧であり、単次埋葬における組成ではない。追葬の区分は困難な場合が多いが、粘土槨、礫槨、木棺直葬、箱式石棺など単独で埋葬されたと考えられる横穴式石室以外の埋葬施設の副葬品について、「報告書」や調査カード、各古墳の調査報告書から6～7世紀の例を概観すると、基本的組成は同じであるが、1品のみが最も多く、次いで2品及び3品が多いことが知られる。出土件数は直刀、鉄鏃、刀子の割合が高い。このような在り方は横穴式石室墳でも単数あるいは2～3種の副葬が実態として存在する可能性を示すものであろう。なお調査古墳でありながら全く遺物が発見されない横穴式石室も存在する。これらについても実態を示すものとしての検討が必要と思われる。

引用文献

埼玉県立さきたま資料館編 1994 『埼玉県古墳詳細分布調査報告書』 埼玉県教育委員会

(表1, 2に掲げた古墳の文献は省略した)